

# 議会です こんにちは

## もくじ

- P 10~11 ・市民と議会の意見交換会を開催
- P 12 ・「留萌市かずの子条例」が制定されました！
- P 13~15 ・第3回定例会一般質問項目
- P 16 ・決算審査特別委員会からの報告
- P 17 ・こんなことが決まりました  
・各常任委員会からの報告 ほか

## 市民と議会の意見交換会を開催 留萌の未来について市民49人が意見を交わす

留萌市議会では、「市民にわかりやすく・開かれた議会」「市民参加の機会の拡充」「市民への説明責任を果たす」ことを実現するために、平成26年から「市民と議会の意見交換会」を開催しています。

3回目となる今年は、8月9日に保健福祉センターはーとふるを会場に、「かずの子条例制定に向けて」「第6次総合計画の策定に向けて」の2テーマで開催し、市民49人の参加をいただきました。

「かずの子条例制定に向けて」では、5月5日が「かずの子の日」に制定されたことで、かずの子の生産日本一を誇る留萌として、新たな消費拡大を促進しようとして、留萌市議会議員による条例制定に向けた委員会が発足したことへの説明を行い、皆さんからご意見やご要望をお聴きしました。

「第6次総合計画の策定に向けて」では、まちづくりの最も基本となる計画である「総合計画」についての説明を行いました。その後、参加者がテーマ別に3つのグループに分かれ、今後10年間の留萌について意見交換を行いました。

意見交換会でいただいたテーマ別の主なご意見やご要望は、次のページで紹介いたします。また、当日いただいた全体的ご意見などは、留萌市議会ホームページ（<http://rumoishigikai.hokkaido.jp/>）に掲載しています。

留萌市議会では、皆さんからの貴重なご意見やご要望などに對し、各常任委員会などで協議を進めていきます。

当日は、多くの市民の皆さんにご参加をいただき、ありがとうございました。



## 皆さんからいただいたご意見やご要望 一部抜粋



### 【テーマ①】まちのにぎわい、商店街の魅力づくり

- マチのにぎわいを目指すのであれば、各団体同士の連携が大事ではないか。「仕掛け方」によって、マチのにぎわいができると思う。土・日曜日にシャッターを閉めるのではなく、協力し合いながら、知恵を出し合い、労力を惜しまないことが大事だと思う。
- 留萌の「食べ物」は、全道や全国と比べても負けないと思う。もっと留萌をPRすることが必要ではないか。

### 【テーマ②】老後の暮らし

- 町内会活動やコミュニティ活動を活発にし、高齢者が外に出かけやすい環境をつくってあげてはどうだろうか。
- 独居の不安や認知症の不安がある。これらは大きな問題である。
- 留萌市内には約140の町内会があるので、コミュニケーションを図れる場や機会を作るのが重要ではないか。



### 【テーマ①】観光・交流人口

- 留萌産ななつぼしなどは、全国的にみても美味しい米ではあるが、他地域にも美味しい米は多くある。それだけでは観光客を呼ぶのは難しい。唯一留萌管内で作られる小麦「ルルロツ」が留萌らしさの売りとなる。
- 鉄道の跡地を、海岸線の景色を楽しみながら走ることでできる公認のマラソコースとして活用し、道内外に発信することで、参加選手やその家族の宿泊などが期待できるのではないか。



### テーマ② 障がい者福祉

- 障がいがあることにより、働く意思があっても働くことができない人がいるので、働くことができる場や条件を整備すること、施設に通いやすい方法を考える必要があるのではないか。
- 障がい者福祉団体が取り組んでいる内容を具体的に知らせることも、障がいを持つ方に対する優しいまちづくりだと思う。



### テーマ①子育て支援

- 市には、障がい児のグループホームや養護学校などがいないため、中学校卒業後は留萌市から離れなければならない。障がい児・障がい者対策に取り組んでほしい。
- 留萌市内で働きたいと願う若者は多いと聞かすが、働く場所がない。企業や市役所の積極的な対応を望む。
- 子育てをしながら、保護者が就労できる環境を整えてほしい。



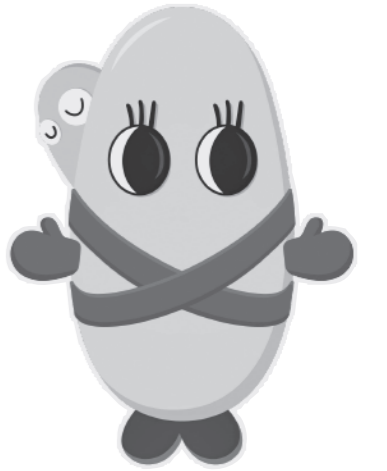
- 子どもたちが将来地元で働くイメージを膨らませることができるよう、中高生を対象に行っているインターンシップや職業体験の機会を増やすことに対する協力をお願いしたい。

### テーマ② 信頼される地域医療

- 他地域の専門病院では、受付時に携帯電話が渡され、順番が来ると呼び出してくれるなど、プライバシーへの配慮がある。
- 遠隔地医療として、高齢者がICT(情報・通信に関する技術)などを利用し、ボタンを押すことで、画面を通じて医師とやりとりできるようなシステムを望む。
- 全国的にも珍しい「健康の駅」を核としたまちづくりを、さらに推し進めることが大切なのではないか。



# るもいの「かずの子」を応援しよう！ 「留萌市かずの子条例」が 制定されました！



KAZUMOちゃん

かずの子はニシンの卵で「ニ親(ニシン)から多くの子が生まれる」と言われたことから、古くから「子宝」「子孫繁栄」を祈るおめでたい食材です。  
KAZUMOちゃんは、かずの子をモチーフとしたキャラクターで、かずの子生産量日本一のまち「留萌」をPRしています

かずの子の消費拡大と地産地消の推進、地域経済の活性化、郷土愛の醸成などを目的として6月に「かずの子条例制定検討委員会」を設置し、業者や行政との協議、市民からの意見募集を経て、第3回定例会(平成28年9月21日)において議員提案による「留萌市かずの子条例」が全会一致で可決しました。

## 留萌市かずの子条例ってどんな条例？



目的・定義・理念のほか生産者や加工業者、市民、市の役割について定めています。また、学校給食の食材として優先的に利用することや国内外への広報活動に努めることを全9条で定めています。

## 留萌市や事業者、留萌市議会の取り組みは？



▲かずの子を利用した給食を試食しました

生産者や加工業者、飲食店業者、市民の関係強化を図るため、市と市議会は、新しい取り組みが生まれるよう関係団体との連携に力を注ぎます。また、かずの子の消費拡大、交流人口拡大のための施策を推進します。

さらに、生産者・加工業者と市民が連携を図り、食育の向上を目指します。

## 市民の皆さんへの協力をお願い

「かずの子はお正月」という高級食材のイメージがありますが、普段の食卓にも並んでほしいと思います。価格の問題や手軽なかずの子料理の開発、普及を進める施策に取り組みますので、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。



▲かずの子サラダ

「留萌市かずの子条例」の精神は、条例の制定をきっかけに、留萌市の地場産業の振興と地域内の経済循環への波及効果が生まれることを期待して制定されました。

## 平成28年第3回定例会 一般質問と答弁を ご紹介いたします

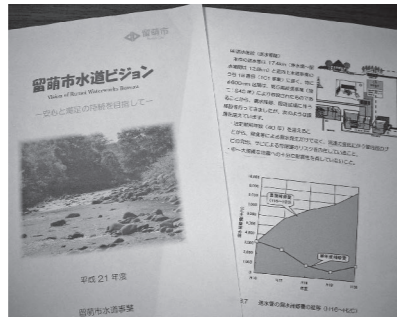
村上 均 議員  
(留萌公明党)

**問** 防災・減災対策について  
福祉避難所の設置について  
の取り組みを伺いたい。

**答** 福祉避難所は、避難が長期化した場合に、避難行動要支援者の対応も含め、特に介護支援が必要となる方を対象とした避難所であり、その指定については、公共施設を含む医療や介護、相談などの支援策が十分に対応できる福祉関係施設が望ましいとされている。現在対応できる施設との協定は結んでいないが、協議を進める。

**問** 水道事業計画について  
今後の水道送水管整備などの計画を伺う。

**答** 留萌市水道ビジョンでは調査を含めて中期計画に組み込んでいく。延長約13キロメートルの送水管の整備は平成29・30年度の2カ年で取組む。導水を含めた大まかな基本計画を作り、概算の必要費用を算出する。



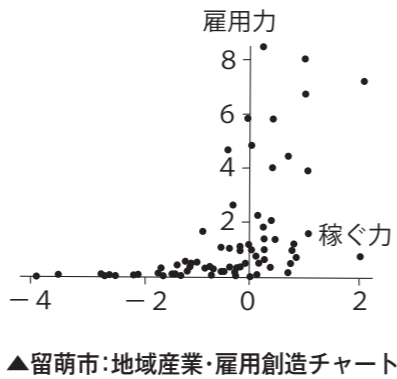
▲留萌市水道ビジョン

澤井 篤司 議員  
(萌政会)

**問** 経済の活性化

市の経済分析から、水産加工業に続き、外貨を獲得し、雇用増と地域経済活性化に期待が持てる産業は何か。地域循環経済の理念を実現させる

産業振興基本条例を策定すべきと考えるがいかがか。  
**答** 次の産業は、商工会議所などとの意見交換を通じて判断したい。産業振興基本条例については、スピード感を持ち引き続き調査研究する。



▲留萌市：地域産業・雇用創造チャート

**問** 不測のコスト対策  
危険空き家数は今後も増大していくと予想する。行政代執行の法的準備やコンパクトシティを下地とした立地適正化計画の策定を急ぐべきである。また、今後の不納欠損額の見通しと対策を伺いたい。

**答** 空家等対策計画の中で行政代執行を規定する。立地適正化計画は、都市計画マスタープランの見直しに併せて検討する。不納欠損額は減少していくと予想しているが、

今後も適正な収納業務を進めていく。

村山ゆかり 議員  
(萌芽クラブ)

**問** 合宿誘致事業について  
3年間のスポーツ合宿可能性研究事業の課題と成果を伺いたい。今後、音楽合宿に特化していくのか、スポーツ合宿との一本化を進めていくのか。また、音楽合宿の実施団体から、要望されていることは何か。合宿事業を継続する場合には、市民に周知と理解が必要だと思いが考えを伺う。



▲公民館で昼食をとる音楽合宿高校生

**答** スポーツ合宿は、競技力の向上と指導力の向上、経済効果などの成果がある。課題としては、安価な宿泊先の

確保などがあるが、留萌ならではの合宿誘致について検討したい。音楽合宿に特化せず、スポーツも含めて、現状で可能な合宿誘致を考えている。  
新たな財源確保や会場使用料、継続的な運営体制に関する意見をもらった。平成29年度予算編成に向け、継続的な運営支援について早急に判断したい。合宿事業の効果などを含め、目的を市民に理解してもらえらる広報活動に努力していく。

戸水美保子 議員  
(留萌公明党)

**問** 安心して住めるマチに  
自立可能と判定される高齢者に対し、通所型生きがいデイサービスを実施する考えはないか。市内に銭湯がないので「入浴」のサービスを先行して実施できないか。また、福祉政策として、袋小路の除排雪に関する費用の一部を助成できないか。

**答** 他の自治体の生きがいデイサービス事業の取り組みを調査研究したい。除排雪に

ついでには、現行のサービスや制度の周知啓発に努めたい。  
**問一** 合同墓の設置について市営墓地で継承者が不明の場合などはどのような対策をしているか。核家族化により、子どもが遠隔地に住むなど、墓の継承に不安を抱いている市民もいる。合同墓を市でも設置してはと思うがどうか。



▲多くの市民に使用されている留萌市営墓地

**答二** ニーズを把握し、合同墓の設置を検討しなければいけない時期に来ており、検討したい。

**坂本 茂 議員**  
(無会派)

**問一** 介護サービスの現状と課題について

国は、要支援1・2の認定者が受けている訪問介護とテ



▲特別養護老人ホーム

イサービスを介護保険から外すことに加え、要介護1・2認定者の訪問介護をサービスから外そうと計画している。市における介護サービスの現状と、特別養護老人ホームの入所待機者97人(定員70人)の救済についての見解は。さらに市長とし、国に対し介護サービス削減をしないよう、強く要請をさせていただきたいかがか。

**答一** 介護認定者は、今年7月で要支援1と2が299人、要介護1から要介護5が1066人。サービスの利用状況は、昨年度実績で訪問介護が延べ6054件、通所介護が4306件。

要請は、国会の情報を得ながら考えたい。特別養護老人ホームの増設は厳しい。

**燕 昌克 議員**  
(萌政会)

**問一** これからの観光・交流のあり方

今年6月に観光庁が認定した「日本のつっぺん。きた北海道ルート」は、国が目指す外国人観光客誘致4千万人の一躍をこの地域が担うものだが、市の役割と新たな観光地経営を行うDMO(観光地域づくりの舵取り役を担う法人)について伺いたい。



▲観光客入込数第1位の黄金岬

**答一** 広域での連携により、受け入れ態勢の整備に取り組み、外国人観光客の誘致を進めたい。DMOの考え方は重要なものと考えている。  
**問二** 公共施設の今後

今年5月に公共施設等総合管理計画を策定し、今後は施設情報や維持管理を一括して行うとのことだが、管理方法やPPP(官民連携)/PFI(民間資金活用による社会資本整備)の考え方について伺いたい。

**答三** 今後は、各施設の個別計画、管理体制を検討したい。PPP/PFIの考え方については、勉強会などを行い、研究したい。

**野呂 昭幸 議員**  
(民進党)

**問一** 人口減少とコンパクトシティについて

人口増加のための施策では、「自然増」と「社会増」とでは、どちらに重きをおいて施策を推進するのか。また、国が掲げる「コンパクトシティ」の形成に対してどのよう to 受け止めていくのか。そして、地域生活を支える「小さな拠点」の形成について、どのような考えを持っているのか。課題やメリットなどについて伺う。



▲千望台から見た留萌市

**答一** 「自然増」と「社会増」は連動しており、どちらも市が持続可能なまちとして維持していくためには、重要な視点であると認識している。「コンパクトシティ」の形成には、公共施設などの再編と地域公共交通のあり方を考える必要がある。小さな拠点なのか、コンパクトなのかという手法は別として、留萌らしいコンパクトなまちづくりを検討したい。

**鶴城 雪子 議員**  
(萌政会)

**問一** 温水プール「ふるも」の方向性について

今年度のプールがまだ開館している9月に、議会や市民と議論をすることもなく、も

う一年今年度と同じ方法で継続したい」という考えは、教育委員会での協議か、庁内会議での協議か、市長の個人的なお考えなのか伺いたい。

**答一** プールについては、教育委員会が所管だが、財政に関わる問題ということで、私の考えを述べた。  
**問二** J R留萌線の存続問題について

留萌市は12月5日以降、留萌本線の終着駅のまちとなる。市長には、この沿線の自治体においてリーダーシップを発揮していただきたいが、これからのようにしていくお考えがあるのか伺いたい。



▲終着駅となる留萌駅

**答二** J R北海道は、国がしっかりと支えないと成り立たないので、国、国会議員に支

援してもらうために要請活動をしていきたい。

**川口 宏和 議員**  
(萌芽クラブ)

**問一** 留萌市総合戦略の見直しの予定について

来年度から始まる第6次総合計画の策定に合わせ、総合戦略を改訂するのか。また、周辺の自治体との広域的な連携による地方創生への取り組みや考え方を聞きたい。

**答一** 第6次総合計画でも基本的な方向性は変わるものではなく、総合戦略の変更の必要性はない。旭川市や稚内市などと連携し、広域観光や経済観光を通じ、情報を収集する。

**問二** 除排雪について

除排雪に関する苦情内容や課題の解決策はないか。

**答二** 苦情で多いものは、路面状況が悪く、通行の支障となっていることや降雪量が多いシーズンでは、道路脇の雪の量が多く、除雪の幅が狭いといったものとなっている。今後はさまざまな方法を検討

しながら改善して行きたい。



▲市内の除排雪の様子

**土田 悦也 議員**  
(萌政会)

**問一** 稼げるまち留萌の観光について

国土交通省が勧める「広域観光周遊ルート形成促進事業」では留萌市は道北ルートへのゲートウェイとなった。現在、道北ルートへの訪日外国人は73万人、国は4年後には倍増することを目標に支援策を打ち出している。ぜひ、受け入れ体制を充実させるための観光戦略を構築していただきたい。

その戦略によっては入込数増を目指す好機と思える。何をかせ、何を楽しんでもらうか検討し、成果目標設定を提

示することが急務と思える。多言語表示、無料WiFi環境の整備、ガイド、コンシェルジュの養成、観光資源の検証、近隣で最も地名度の高い黄金岬の活用そして有効なデータ蓄積が必要であろう。



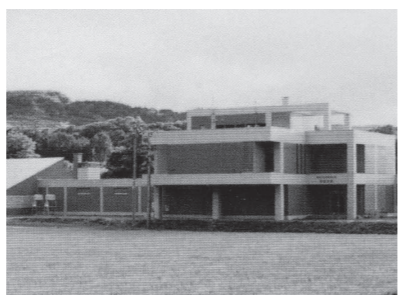
▲昭和30年代の黄金岬

**答一** 商工会議所、観光協会などと連携して有効な手立てを考えたい。

**坂本 守止 議員**  
(民進党)

**問一** 留萌市水道事業の現状と今後の課題について

新信砂浄水場機械設備は、耐用年数が過ぎていて、長寿命化計画の策定とアウトソーシングの可能性は。新信砂川の源流の取水口と導水管の老朽化の対策と平成30年度



▲老朽化対策が求められている新信砂浄水場

**答一** 浄水場の施設更新は、平成29年度実施予定の調査設計に基づき、実施すべき対応策や緊急性、優先順位を整理し、計画する。アウトソーシングは、その後の課題として検討する。取水口、導水管は、昭和26年から改築・更新していないため、多額の費用についての課題や増毛町との協議などを検討していく。

水道管路情報システムは、水道施設の竣工図や各家庭の給水台帳をデータベース化し、一元管理でき、調査時の検索時間短縮のメリットもあり、水道施設更新計画の策定に活用できる。

# こんなことが決まりました

## 平成28年 第3回定例会 9月6日～21日

平成28年第3回定例会が16日間の会期で開催され、認定3件、報告6件、議案5件、意見書6件などを審議しました。

### 【認定】

・平成27年度留萌市各会計歳入歳出決算の認定のついて      ほか2件      ……      認定

### 【報告】

・平成27年度留萌市の健全化判断比率の報告について  
・平成27年度留萌市の資金不足比率の報告について      ほか4件      ……      了

### 【議案】

・平成28年度留萌市一般会計補正予算（第3号）  
・留萌市かずの字条例制定について      ほか3件      ……      原案可決

### 【意見書案】

・林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書  
・返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書      ほか3件      ……      原案可決  
・無年金者対策の推進を求める意見書

## 第1 常任委員会からの報告

8月22日、総務部から平成19年度より財政状況悪化で休止していた留萌市表彰制度を再開するとの報告を受けました。

また、財政健全化計画に沿い、職員数を抑制してきましたが、退職の増加や採用の辞退で人員計画を下回る状況だったため、将来にわたり持続可能な組織の実現を図るため、28年度4月現在一般会計職員数177人を30年度に191人とする定員適正化計画を策定し、職員採用試験を実施するとの報告を受けました。

同日、地域振興部から、和歌山県橋本市とふるさと納税返礼品の相互登録で、留萌市と橋本市にふるさと納税をした方は、それぞれの街の特産品を選べるようになったことの報告を受けました。



▲両市の相互登録により充実したふるさと納税返礼品

## 第2 常任委員会からの報告

8月4日、市立病院から「医療型ショートステイ（短期間の入院）」実施について報告がありました。

地域の在宅介護・療養中の方の支援を目指して開始した医療型ショートステイは、介護保険のショートステイとは異なり、医療保険での入院となります。入院期間は、1泊2日から最長10日程度の期間を選択できます。神経難病の方、胃ろう、腸ろうなど経管栄養または静脈栄養の方（口から食事のできない方）、自力歩行や排泄ができない方など、治療に関わる処置が必要な方が対象です。

病院への送迎は、行っていないことや入院期間が市立病院の判断となることなどの注意点があります。

詳しくは、市立病院へお問い合わせください。



▲8月からスタートした医療型ショートステイ

## 編集後記

市民の目は、この「議会だより」に何を求めるのだろうか。それは市民、国民から集めた財源「税」の行方に尽き、議会の権限は条例の制定改廃、そして予算を定めることであり「自治体のルールを決め、税金の使い道を精査することである」。そこで、市議会はどのような提案をし、どのようなチェック機能行使したのかを知りたいはずだ。市議会ホームページには、一般質問録音音声があり「情報公開」などいつでもつまみづかになるシステムがある。そこで「議会だより」の使命は「公文書」では伝えられない議会内活動への取り組みの公正で真摯な姿を伝えることにあると思う。（土）

## 決算審査特別委員会からの報告（一部抜粋）

9月15日から20日まで決算審査特別委員会を開きました。

### 総務費

**Q災害時に避難所で配給・配布する食料などの備蓄品は**

A 市が保管している行政備蓄品は、食料となるアルファ化米のほか、毛布、資機材としてスコップなども用意している。テントや水は、メーカーから寄附をいただいている。

**Q平和祈念式典の若年層の参加や遺族の高齢化への課題は**

A 高齢化が進む中、若年層の参加も式典の中に組み込み、メッセージの朗読以外にも参加できるように、研究していきたい。

**Q地方創生で、各市町村が趣向を凝らしている中、留萌への移住・定住などの問い合わせの件数は**

A 平成28年度に市のホームページのリニューアルを行うので、検討を進めていきたい。電話による問い合わせが3件あった。

### 民生費

**Q町内会運営の課題について**

A 町内会役員の成り手不足や組織会員の減少により、組織の運営ができなくなってきたなどから、近隣町内会との合併などの相談を数件受けている。

**Q高齢者除雪サービスは前年と比べ対象戸数が少なくなっている。減少の要因は**

A 冬期間だけ家族の家に転居または施設への入所、民間の除雪業者への依頼が要因だと考える。

**Q街灯のLED化により暗くなったとの市民の声が寄せられているが、明るさなどのチェックをしているか**

A 近年は器具が改善され、明かりが拡散する器具もでてきた。現在は極端に暗いなどといった苦情は届いていない。

### 衛生費

**Q市では在宅医療を中断しており、北海道総合在宅ケア事業団の仕事に依存する部分強い。市は看護師不足などについて強く要請する**

などしているか

A 事業団に対し、看護師などの派遣の依頼をしている。事業団自体も看護師不足との話だが、市としても強く要請をしている。

**Q市営墓地の今後の区画整理と合同墓の市のその後について**

A 返還された区画などについては貸し出しを行っている。合同墓の道内の事例は、設置済み9市、設置予定1市となっている。

### 農林水産費

**Q礼受牧場を観光エリアとして活用することはできないか**

A 農地法が適用されている用地の用途変更は容易ではなく、観光施設への変更は、法律上、不可能だと考えられる。農業委員会や関係団体と相談していく必要がある。

**Qニシンの稚魚はどのように放流されているのか**

A 日本海北部ニシン栽培漁業推進委員会が羽幌の栽培漁業において、200万尾の稚魚を生産、日本海側に放流している。市では三泊漁港に7万尾の稚魚を放流している。

**Qアライグマの農業被害が増えているが、捕獲の状況は**

A 平成26年度0頭、27年度15頭、今年度21頭を捕獲した。より多くの捕獲を目指し事業を進めていきたい。



▲捕獲されたアライグマ

### 商工費

**Q平成27年度の新築およびリフォームで市外の業者が施工している割合は**

A 住宅新築戸数は市内事業者7件、市外事業者15件である。

**Q留萌港への大型客船の寄港で、留萌を満喫できるツアーの企画が必要では**

A ツアーの内容が最初から組まれており、思うようにいかない部分もある。留萌の魅力を満喫できるように交渉していきたい。



▲大型客船の寄港で留萌の魅力を満喫

### 土木費

**Q留萌港の利活用は大切な施策と考える。市は貿易可能性というものをどのように捉えているか**

A 留萌港の状況に即した背後圏域との連携を深め、物流貨物量が増加するように考えていかなければならない。今後も情報収集を図り、荷役の増加に努めていきたい。

**Q応募が少なく空いている市営住宅などへの対応は**

A 公募枠以外の条件でも受け付けている。

**Q三泊地区緑地整備事業はいつまで続き、緑地の供用開始はいつからなのか**

A 平成23年度から始まり27年度で完了した事業である。供用は芝が安定していれば、海を望める緩衝緑地として開放したい。

### 教育費

**Q神居岩スキー場のクロスカントリーコース整備で、圧雪車を購入する予定はないか**

A 新車での購入は難しいが、リースなどの方法を研究していきたい。

**Q低学年のスキー授業として休止中の神居岩スキー場の利用は**

A 低学年には、適したスキー場であると関係者から聞いている。

**Q各協議団体に対しスポーツ振興助成金制度を周知してほしい**

A 競技団体等に周知できるように考えていきたい。

【訂正とお詫び】平成28年8月発行の留萌市議会だより「議会です こんにちは」第121号において誤りがありましたので、下記のとおり訂正します。ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びします。  
● 15 ページ「消防組合議会からの報告」下から4行目 誤「視察しました。」→正「視察する予定です。」